

花きの県別生産出荷概況(2月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	2月出荷見込み 千本		主産地	2月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
アルストロメリア	山形県	9.6 (95%)	レベッカ、オルガ、レモン、アバラン ジェ、ブッチーニ、エベレスト他	341 (101%)	118 (102%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	30	35	35
さくら	山形県	206 (104%)	啓翁桜	222 (95%)	144 (95%)	県内全域	45	25	30
菊	香川県	60 (97%)	精興の誠、神馬、精興光玉、美吉野他	13,000 (97%)	-	小豆地区 香川豊南	-	-	-
ストック	千葉県	41.7 (100%)	カルテットシリーズ、アイアン系	3,613 (110%)	2,175 (110%)	館山市(神戸、西岬)、南 房総市(白浜の長尾、千 倉、丸山、和田)、鴨川 市、夷隅	20	35	45

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	低温と低日照の影響により、開花が進みにくい状況である。2月の出荷量は、今後の天候に大きく左右される見込み。品質は概ね良好である。	<p><b>現状</b> 例年どおり低温の影響で数量が減少するが、今年は曇天が続いていることから少ない期間が長くなった。品質は上がってきているが、日照が少なく発色が悪い品種もあった。花持ちが良いことと、消費が低迷していることから低調相場となった。</p>
		<p><b>見通し</b> 例年、日照条件が回復してくるため数量は増加傾向となるが、12～1月の条件が悪かったこともあり、すぐには増加せず、中旬以降に増加してくる見込み。 大田花き 480,000 @70</p> <p>FAJ 引き続き、長野・山形より入荷。入荷量横ばい、相場も安定相場で推移する。</p>
		<p>第一花き 業務・プライダル需要の品種の引き合いは有る。特に大きな需要も少ない時期で概ね例年並みの流れ。@85</p> <p>東京フラワーポート 品種によって単価格差は若干あるが、全体的に良い動き 東日本板橋花き 愛知、青森中心の入荷、需要無く引き合い弱い。 世田谷花き 業務中心の動き。暖色系は、続いて弱い予想。</p>
さくら	大雪のため、産地によっては園地に入れず切り枝収穫が難しい状況であることから、2月の出荷量はやや少なくなる見込み。切り枝品質は概ね良好である。	
菊	数量は前年並からやや少なめ。病虫害発生少なめも、全体に細めで2L少ない。年末から平年以上の冷え込みあり、生育はやや遅れ気味。	<p><b>現状</b> 白菊は国産周年産地中心の荷姿。例年以上に2L等級が少なくMS等級が多い傾向。上旬は業務需要により、2L等級が品薄、他等級も安定した単価で推移。中旬以降は業務需要も落ち着き、小売りの動きも鈍いことから、特に下位等級で厳しい販売となった。色菊は、周年産地に沖縄を加えた荷姿。白菊同様、上旬こそ業務需要、年始の小売り需要に支えられ安定した取り引きとなったが、中旬以降は、需要が低迷、厳しい販売となった。</p>
		<p><b>見通し</b> 白菊の主産地、愛知産、福岡産ともに作付け計画から前年の2月よりも入荷量は少なめの見込み。1月同様、2Lの発生率が低く、2L等級の引き合いは強い見通しだが、MS等級については厳しい販売が予想される。色菊は、周年産地は減少し沖縄産が増加の荷姿。全体の入荷量は少なめで推移するが、目立った需要もない為、落ち着いた取り引きになる。</p>
		<p>FAJ 葬儀需要中心の取引。上位等級の入荷やや少ない。堅調な値動きが予想される。</p>
		<p>第一花き 特に大きな需要も無い時期、入荷バランスによるが業務需要中心の流れで例年並みの流れ。@75</p> <p>世田谷花き 天候にもよるが、昨年並みの入荷。業務需要によって、単価が変わるだろう。</p> <p>東京フラワーポート 特に大きな需要もなく動き的には鈍い。</p> <p>東日本板橋花き 1月同様で業務中心の動き@2L90から100</p>
	ストック	12月以降、厳しい寒波の影響で開花が止まり、出荷量は減少した。12月から1月出荷予定のものは開花時期が約3週間～1ヶ月遅れている。2月中旬以降出荷予定の作型では、気温の上昇とともに予定どおり開花する見込みで、遅れた出荷分が2月の出荷分と重なり、上中旬の出荷量は増加する見込み。
		<p><b>見通し</b> 1月同様、冷え込みにより左右されるが、暖かくなれば数量が増加。下旬から節句や卒業式に向けた需要が動き出す見込み。</p> <p>大田花き</p> <p>FAJ 千葉・熊本より入荷。白・緑中心の入荷で、出荷量昨年並みを予定。</p>
		<p>第一花き 業務需要中心の流れ、入荷バランスによるが概ね例年並みの安定した流れ。SP@63 SD@70</p> <p>世田谷花き 気温の上昇に伴い千葉産の入荷増えるので、価格落ち着く。</p> <p>東京フラワーポート 引き合いが弱く、仕事需要等での動きに期待したい。</p>